

【別添】

第2回シミュレータセンター・シンポジウム プログラム

10:30～10:40 開会の辞 平野 拓也 (海洋科学技術センター理事長)

10:40～10:50 来賓挨拶 文部科学省

10:50～11:00 ご挨拶 毛利 衛 (日本科学未来館館長)

11:00～11:40 基調講演

「満1歳を迎えた地球シミュレータ」

佐藤 哲也 (地球シミュレータセンター長)

(先進・創出分野)

11:40～12:05 「カーボンナノチューブの特性に関する大規模シミュレーション」

中村 寿 (財団法人 高度情報科学技術機構
計算科学技術第2部部長)

12:05～12:30 「タンパク質分子科学計算の将来」

佐藤 文俊 (東京大学生産技術研究所)

12:40～14:00 昼食

(大気・海洋分野)

14:00～14:15 「大気・海洋分野の概要」

佐久間 弘文 (地球シミュレータセンター)

14:15～14:40 「地球温暖化予測の将来」

- 温暖化したらどんな天気になるのだろうか? -

住 明正 (東京大学気候システム研究センタ

ー)

14:40～15:05 「地球温暖化は台風や集中豪雨にどのような影響を及ぼすだろうか?」

- 高精度・高分解能気候モデルの開発 -

青木 孝 (気象研究所)

- 15:05 ~ 15:30 「空と海との情報交換が決める気候変動メカニズム」
高橋 桂子 (地球シミュレータセンター)
- 15:30 ~ 15:45 休憩
(固体地球分野)
- 15:45 ~ 16:00 「固体地球分野の概要」
金田 義行 (固体地球統合フロンティア)
- 16:00 ~ 16:25 「地球の磁場のシミュレーション」
浜野 洋三 (固体地球統合フロンティア)
- 16:25 ~ 16:50 「大地震発生の予測可能性」
松浦 充宏 (東京大学理学系研究科)
- 16:50 ~ 17:15 「日本列島の地震波の伝わり方と強い揺れの生成」
- 地球シミュレータで再現した日本の被害地震 -
古村 孝志 (東京大学地震研究所)
- 17:15 ~ 17:30 休憩
- 17:30 ~ 18:30 招待講演
「地球シミュレータがニューヨーク・タイムズトップ記事になっ
て、日本の新聞のトップ記事にならない理由」
立花 隆 (ジャーナリスト)
- 18:30 ~ 18:40 閉会の辞 木下 肇 (海洋科学技術センター理事)